



## CHAPTER 2

# Cisco IP Communicator の機能 とインターフェイスについて

---

- [2-1 ページの「Cisco IP Communicator の機能」](#)
- [2-4 ページの「Cisco IP Communicator インターフェイスについて」](#)
- [2-11 ページの「インターフェイスの操作方法」](#)
- [2-20 ページの「オンラインヘルプへのアクセス」](#)

## Cisco IP Communicator の機能

Cisco IP Communicator の機能は従来の電話機の機能とよく似ており、コールの発信、受信、保留、番号の短縮ダイヤル、コールの転送などを行うことができます。Cisco IP Communicator は、コール処理機能を拡張およびカスタマイズできる特別な電話機能（コールパークや Meet-Me 会議など）もサポートしています。

Cisco IP Communicator の操作方法および利用可能な機能は状況によって異なる場合があります。利用可能な機能は、社内で使用されるコール処理エージェント、および社内のサポート チームによる電話機システムの設定内容によって異なります。機能の動作に関する質問や、特定の機能を利用できるかどうかについては、社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

ソフトキーをクリックするか回線ボタンを押すことにより、さまざまな機能にアクセスできます。機能とソフトキーのリストについては、表 2-1 を参照してください。一部の機能はユーザ側で設定できますが、ほとんどの機能はシステム管理者によって管理されています。

また、Cisco IP Communicator はコール処理機能の他に、次の機能もサポートしています。

- [ オーディオ調整ウィザード ]
- [ クイック検索 ] によるディレクトリからのダイヤル
- Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページおよび電話サービスへの簡単なアクセス
- 包括的なオンライン ヘルプ システム
- Cisco IP Communicator の外観の変更
- ドラッグアンドドロップ ダイヤル
- カットアンドペースト ダイヤル
- ポップアップ着信通知
- 英数字ダイヤル
- キーボードショートカット
- Cisco Unified Video Advantage Release 2.0 とのビデオの相互運用性



**注** Cisco IP Communicator で SIP コール制御プロトコルを使用している場合は、Cisco Unified Video Advantage を使用してもビデオがサポートされません。ご使用の環境がビデオをサポートしているかどうかについては、システム管理者から通知されます。

表 2-1 機能とソフトキー

機能	ソフトキー
コール バック	折返し
コール転送	不在
コール パーク	パーク
コール ピックアップ	ピック

機能	ソフトキー
会議	会議
会議リスト	参加者
サイレント	サイレント
コールの終了	終了
グループ ピックアップ	G ピック
保留	保留
迷惑コールの識別	迷惑呼
Meet-Me 会議	ミー トミー
モビリティ	モビリティ
発信	発信
その他のピックアップ	他 Grp
Quality Reporting Tool	品質
リダイヤル	リダイヤル
最後の参加者を削除	ドロップ
転送	転送

#### 関連項目

- [2-4 ページの「Cisco IP Communicator インターフェイスについて」](#)

# Cisco IP Communicator インターフェイスについて

ボタンやメニュー項目をクリックするにはマウスを使用し、文字、数字、キーボードショートカットを入力するにはコンピュータのキーボードを使用します。

Cisco IP Communicator には、スキンと呼ばれる 2 つのデスクトップ表示が用意されています。

- [2-5 ページの「ボタンおよび他のコンポーネント」](#)
- [2-10 ページの「電話スクリーンの機能」](#)

## ボタンおよび他のコンポーネント

表 2-2 に、両方のスキンに共通するボタンとその他のコンポーネントを示します。

図 2-1 コンパクトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator

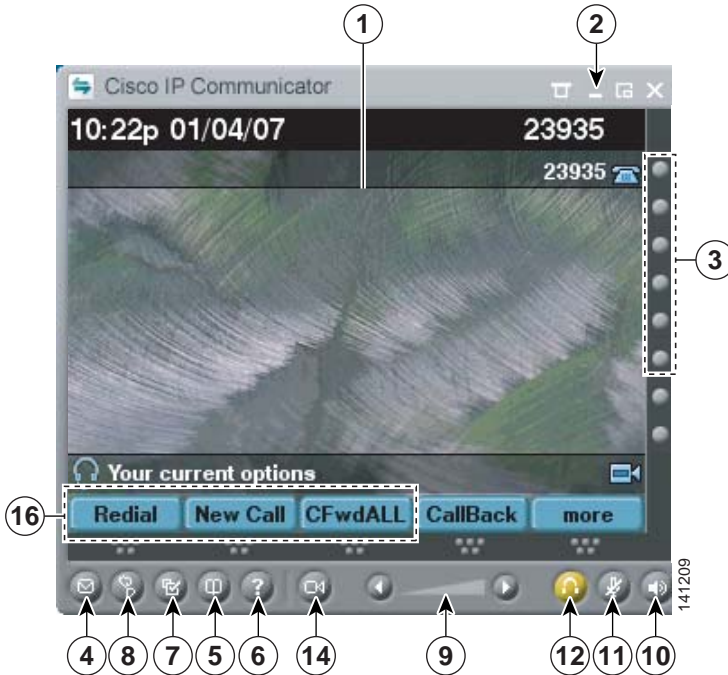


図 2-2 デフォルトモードを選択した場合の Cisco IP Communicator



表 2-2 ボタンおよび他のコンポーネント

1	電話スクリーン	コールの状態や機能メニューを表示する場合、および項目をアクティブにする場合に使用します。2-10 ページの「電話スクリーンの機能」を参照してください。
2	ウィンドウ制御ボタン	メニューを表示する場合、Cisco IP Communicator を非表示にする場合、スキンを切り替える場合、またはアプリケーションを終了する場合に使用します。2-22 ページの「機能の操作方法と利用可能状況」を参照してください。

表 2-2 ボタンおよび他のコンポーネント (続き)

3	プログラム可能なボタン	<p>設定によっては、プログラム可能なボタンを使用して次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線およびインターコム回線 (回線ボタン)</li> <li>• 短縮ダイヤル番号 (BLF 短縮ダイヤル機能を含む短縮ダイヤルボタン)</li> <li>• Web ベースのサービス ([個人アドレス帳] ボタンなど)</li> <li>• コール機能 ([プライバシー]、[保留]、[転送] ボタンなど)</li> </ul> <p>各ボタンの点灯および点滅は、それぞれ次の状態を表しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑、点灯：コールまたは双方向のインターコム コールがアクティブである</li> <li>• 緑、点滅：コールが保留されている</li> <li>• オレンジ、点灯：プライバシー機能が有効になっている、一方向のインターコム コールがアクティブである、またはサイレント機能がアクティブである</li> <li>• オレンジ、点滅：コールの着信中または復帰中</li> <li>• 赤、点灯：リモート回線が使用中である (共有回線または BLF ステータス)</li> </ul> <p>余っている回線ボタンは短縮ダイヤル ボタンに変えることができます。7-5 ページの「<a href="#">短縮ダイヤルの設定</a>」を参照してください。</p>
4	[メッセージ] ボタン	<p>ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします (利用しているサービスによって異なります) (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+M です)。6-1 ページの「<a href="#">ボイス メッセージへのアクセス</a>」を参照してください。</p>
5	[ディレクトリ] ボタン	<p>[ディレクトリ] メニューを開閉します。発信履歴および社内ディレクトリを表示して、そこからダイヤルする場合に使用します (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+D です)。また、[クイック検索] 機能 (Alt+K) を使用して、ディレクトリを検索することもできます。6-3 ページの「<a href="#">履歴の使用方法</a>」を参照してください。</p>
6	[ヘルプ] ボタン	<p>[ヘルプ] メニューをアクティブにします (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+I です)。2-20 ページの「<a href="#">オンラインヘルプへのアクセス</a>」を参照してください。</p>

表 2-2 ボタンおよび他のコンポーネント (続き)

7	[ 設定 ] ボタン	[ 設定 ] メニューを開閉します。タッチスクリーンおよび呼出音の設定を変更する場合に使用します (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+S です)。4-3 ページの「呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。
8	[ サービス ] ボタン	[ サービス ] メニューを開閉します (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+R です)。7-7 ページの「電話サービスの設定」を参照してください。
9	[ ボリューム ] ボタン	オーディオ モードの音量およびその他の設定を制御します (これに対応するキーボードショートカットは Page Up および Page Down です)。4-2 ページの「コールの音量調節」を参照してください。 <sup>1</sup>
10	[ スピーカ ] ボタン	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンの場合は、このボタンが点灯します (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+P です)。5-1 ページの「Cisco IP Communicator でのヘッドセットおよび他のオーディオデバイスの使用方法」を参照してください。
11	[ ミュート ] ボタン	ミュート機能のオン/オフを切り替えます 機能がオンの場合は、このボタンが点灯します (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+T です)。3-14 ページの「ミュートの使用方法」を参照してください。
12	[ ヘッドセット ] ボタン	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます (これに対応するキーボードショートカットは Ctrl+H です)。5-1 ページの「Cisco IP Communicator でのヘッドセットおよび他のオーディオデバイスの使用方法」を参照してください。
13	[ ナビゲーション ] ボタン	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。ソフトキーと組み合わせて、強調表示された項目をアクティブにすることができます。また、Cisco IP Communicator がオンフックになっているときに [ ナビゲーション ] ボタンをクリックすると、発信履歴ログの電話番号にアクセスできます。
14	[ Cisco Unified Video Advantage ] ボタン	Cisco Unified Video Advantage を起動します。この機能を使用するには、Cisco Unified Video Advantage Release 2.1.1 と Cisco IP Communicator Release 2.0 (またはそれ以降) を同じ PC 上で実行している必要があります。 <sup>2</sup>
15	キーパッド	番号や文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します (オプションのスキンでは使用できません)。代わりに、コンピュータのキーボードも使用できます。



表 2-2 ボタンおよび他のコンポーネント (続き)

16	ソフトキー ボタン	各ボタンをクリックすると、そのソフトキーがアクティブになります。ボタンではなくソフトキーのラベルをクリックしても、ソフトキーをアクティブにできます (これに対応するキーボードショートカットは F2 ~ F6 です)。3-1 ページの「Cisco IP Communicator でのコールの処理」を参照してください。
17	ボイス メッセージおよび着信コールのインジケータ	着信コールおよび新しいボイス メッセージがあることを示します。4-3 ページの「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください。

1. Release 2.0 より前のリリースでは、キーボードショートカットは Ctrl+V です。
2. Cisco IP Communicator で SIP コール制御プロトコルを使用している場合は、Cisco Unified Video Advantage を使用してもビデオがサポートされません。ご使用の環境がビデオをサポートしているかどうかについては、システム管理者から通知されます。





## ヒント

- どちらかのスキンの最上部にあるメニュー アイコンをクリックするか、Cisco IP Communicator 上で右クリックするか、またはキーボードで Shift+F10 を押すと、設定値の表示や設定、スキンの選択、および [画面のみ] モードの有効化を行うことができます。2-13 ページの「メニューの使用法」を参照してください。
- デフォルト モード (図 2-2) とコンパクト モード (図 2-1) では、同じボタンアイコンセットが使用されます。ただし、ボタンの形や場所はスキンによって異なる場合があります。
- ナビゲーション ショートカットの完全なリストについては、2-12 ページの「キーボード ショートカットの使用法」を参照してください。
- Cisco IP Communicator の電話スクリーンにコールや回線がどのように表示されるかについては、2-10 ページの「電話スクリーンの機能」を参照してください。

## 電話スクリーンの機能

コールがアクティブで、機能メニューがいくつか開いている場合、Cisco IP Communicator の電話スクリーンは次のように表示されます。



1	<p>プライマリ電話回線</p> <p>プライマリ電話回線の電話番号を表示します。</p>
2	<p>プログラム可能なボタンインジケータ</p> <p>プログラム可能なボタンは、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話サービスボタン、または電話機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンがどのように設定されているかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 電話回線アイコン：それぞれの電話回線に対応しています。回線アイコンは異なる場合があります。</li> <li> 短縮ダイヤルアイコン：有効な場合、短縮ダイヤルボタンに対応しています。</li> <li> 電話サービスアイコン：有効な場合、Web ベースの電話サービス（個人アドレス帳など）に対応しています。</li> <li> 機能アイコン：有効な場合、プライバシーなどの機能に対応しています。</li> </ul> <p>その他のアイコンについては、<a href="#">2-18 ページ</a>の「<a href="#">コールおよび回線の状態とアイコン</a>」を参照してください。</p>

3	ソフトキーラベル	各ラベルにソフトキーの機能が表示されます。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	強調表示されている回線の発信者 ID、コール時間、コール状態など、回線ごとの現在のコール情報を表示します（標準の表示）。
6	電話タブ	コールアクティビティを示します。このタブをクリックすると、必要に応じてコールアクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブで開いている機能メニューを示します。

#### 関連項目

- [2-4 ページの「Cisco IP Communicator インターフェイスについて」](#)
- [2-11 ページの「インターフェイスの操作方法」](#)

## インターフェイスの操作方法

- [2-12 ページの「キーボードショートカットの使用方法」](#)
- [2-13 ページの「メニューの使用方法」](#)
- [2-15 ページの「ウィンドウ制御ボタンの使用方法」](#)
- [2-16 ページの「着信通知の使用方法」](#)
- [2-16 ページの「電話スクリーンの項目の選択」](#)
- [2-17 ページの「機能メニューの使用方法」](#)
- [2-17 ページの「テキストの入力と編集」](#)
- [2-18 ページの「オンフックとオフフック」](#)
- [2-18 ページの「コールおよび回線の状態とアイコン」](#)

## キーボード ショートカットの使用方法

Cisco IP Communicator は、マウスを使用しなくてもウィンドウ上のボタンにアクセスできる機能を備えています。視覚に障害をお持ちで、インターフェイスが操作しにくいと感じられる場合は、これらのナビゲーションショートカットをご利用いただくと便利です。

キーボードショートカットを使用してインターフェイスを操作する方法については、表 2-3 を参照してください。

表 2-3 Cisco IP Communicator のナビゲーション ショートカット

キーの組み合わせ	動作
Ctrl+D	[ ディレクトリ ] メニューを開閉します。
Ctrl+S	[ 設定 ] メニューを開閉します。
Ctrl+R	[ サービス ] メニューを開閉します。
Ctrl+M	ボイス メッセージ システムを開きます。
Ctrl+I	オンライン ヘルプ システムを開閉します。
Ctrl+H	ヘッドセット モードのオン/オフを切り替えます。
Ctrl+P	スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えます。
Ctrl+T	ミュート機能のオン/オフを切り替えます。
Ctrl+ (1 ~ 8 の数字キー)	回線ボタンまたは短縮ダイヤル ボタン 1 ~ 8 を開閉します。
Ctrl+V	名前または電話番号を貼り付けます。
Ctrl+Shift+A、または F2	コールに応答します。
Alt+S	[ 設定 ] ダイアログボックスを開きます。
Alt+K	[ クイック検索 ] ディレクトリ機能を開きます。
Alt+X	Cisco IP Communicator を終了します。
Alt+F4	Cisco IP Communicator を閉じます。
Enter	コールをダイヤルします。
Esc	コールを切断します。
Page Up	現在のオーディオ モードの音量を上げます。
Page Down	現在のオーディオ モードの音量を下げます。
F2 ~ F6	ソフトキー 1 ~ 5 をアクティブにします。

表 2-3 Cisco IP Communicator のナビゲーション ショートカット (続き)

キーの組み合わせ	動作
/ (NumLk 機能が有効な場合)	# キーをアクティブにします。
Shift+F10	メニューを開きます。

## メニューの使用法

次のメニュー項目にアクセスするには、インターフェイスの右上隅にあるメニューアイコンをクリックするか、インターフェイス上の任意の位置で右クリックするか、またはキーボードで Shift+F10 を押します。

項目	説明
[ スキン ]	インターフェイスの外観を変更する場合に使用します。Cisco IP Communicator には2つのスキンが用意されています。デフォルトスキン (右クリック > [ スキン ] > [ デフォルトモード ]) とコンパクトスキン (右クリック > [ スキン ] > [ コンパクトモード ]) です。スキンの図については、 <a href="#">図 2-2</a> および <a href="#">図 2-1</a> を参照してください。
[ 画面のみ ]	画面のみの表示のオン/オフを切り替えます。画面のみの表示で Cisco IP Communicator を使用する場合は、キーボードショートカットが特に役立ちます。 <a href="#">2-12 ページの「キーボードショートカットの使用法」</a> を参照してください。
[ 常に手前 ]	この機能のオン/オフを切り替えます。この機能を有効にすると、他のアプリケーションがアクティブな場合でも、デスクトップに Cisco IP Communicator が表示されたままになります (インターフェイスを最小化することもできます)。 <a href="#">2-22 ページの「機能の操作法と利用可能状況」</a> を参照してください。
[ オーディオ調整ウィザード ]	オーディオ デバイスの選択および調整に役立つツール [ オーディオ調整ウィザード ] を起動します。 <a href="#">1-7 ページの「オーディオ調整ウィザードの使用法」</a> および <a href="#">8-1 ページの「Cisco IP Communicator のトラブルシューティング」</a> を参照してください。

## ■ インターフェイスの操作方法

項目	説明
[ 貼り付け ]	任意の Windows プログラムから番号をコピーして、ダイヤルボックスに貼り付けてから、[ <b>ダイヤル</b> ] をクリックするか、または <b>Enter</b> キーを押すことで、コールを発信できます（この機能のキーボードショートカットは <b>Ctrl+V</b> です）。Cisco IP Communicator は、番号に適切なダイヤル規則をすべて適用し、自動的にダイヤルします。
[ クイック検索 ]	[ <b>クイック検索</b> ] ダイアログボックスを開きます（このダイアログボックスを開くキーボードショートカットは <b>Alt+K</b> です）。[ <b>クイック検索</b> ] では、1 つの検索コマンドで 1 つ以上のディレクトリを検索できます。6-8 ページの「 <a href="#">個人ディレクトリの使用方法</a> 」を参照してください。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション]	Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページを開きます。この Web ページでは、機能、設定値、および IP 電話サービス（短縮ダイヤル ボタンなど）を設定できます。7-1 ページの「 <a href="#">Cisco Unified CM のユーザ オプションを使用した Cisco IP Communicator のカスタマイズ</a> 」を参照してください。
[ 設定 ]	[ <b>設定</b> ] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、[ <b>ユーザ</b> ]、[ <b>ネットワーク</b> ]、[ <b>オーディオ</b> ]、および [ <b>ディレクトリ</b> ] というタブがあります（[ <b>設定</b> ] にアクセスするキーボードショートカットは <b>Alt+S</b> です）。
[ ヘルプ ]	Cisco IP Communicator のオンライン ヘルプを開きます。
[Cisco IP Communicator とは]	Cisco IP Communicator ソフトウェアのバージョン情報と Cisco IP Communicator に関する重要な通知を表示します。
[ 終了 ]	Cisco IP Communicator を終了します。

## ウィンドウ制御ボタンの使用方法

目的	操作
メニューにアクセスする	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスの右上隅にあるメニュー ボタンをクリックします。</li> <li>• インターフェイス上の任意の位置で右クリックします。</li> <li>• キーボードで Shift+F10 を押します。</li> </ul>
インターフェイスを最小化する	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスの右上隅にある最小化ボタンをクリックします。</li> <li>• Cisco IP Communicator のタスクバー ボタンを1回または複数回クリックします。</li> </ul>
モードを切り替える	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスの右上隅にあるモード ボタンをクリックします。</li> <li>• メニューから [ スキン ] を選択します。</li> </ul>
インターフェイスを非表示にする	システムトレイのアイコンを右クリックし、[ Cisco IP Communicator を隠す ] を選択します。この操作によりタスクバーから Cisco IP Communicator のアイコンが消えますが、アプリケーションが閉じるわけではありません。
インターフェイスを復旧させる	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• システムトレイのアイコンをダブルクリックします。</li> <li>• タスクバーのボタンアイコンをクリックします。</li> </ul>
終了する	次のいずれか1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューから [ 終了 ] を選択します。</li> <li>• システムトレイのアイコンを右クリックし、[ 終了 ] を選択します。</li> </ul>

### ヒント

- Cisco IP Communicator が非表示または最小化の状態のときに新しいコールを受信すると、着信通知ウィンドウが有効になっている場合、このウィンドウが表示されます。[アクティブコール時に一番前にする] (右クリック > [設定] > [ユーザ] タブ) を有効にすると、Cisco IP Communicator が自動的にデスクトップの前面に表示されます。

## ■ インターフェイスの操作方法

- 他のアプリケーションがアクティブな場合でも、デスクトップの前面に Cisco IP Communicator を表示しておくには、メニューから [常に手前] を選択します ([常に手前] を選択している場合でも、インターフェイスを最小化できます)。

## 着信通知の使用方法

目的	操作
コールに応答する	ポップアップ ボックスの任意の位置をクリックします (ミュート アイコンを除く)。
呼出音をミュートにする	ポップアップ ボックス上のミュート アイコンをクリックします。呼出音が現在鳴っているコールに、ミュートが適用されます。
着信通知を隠す	[設定] > [ユーザ] タブ > [着信通知を隠す] を選択します。

## 電話スクリーンの項目の選択

電話スクリーンの項目の選択方法	操作
クリック	マウスを使用して、電話スクリーンの項目をクリックします。プレダイアル画面など一部の電話スクリーンでは、電話番号をクリックすると、Cisco IP Communicator によってその番号がダイアルされます。項目をクリックするか番号を入力すると、操作が実行されます。メニューが表示される項目の場合は、メニューが表示されます。
項目番号	キーパッドで該当する番号をクリックします。たとえば、メニューの 4 番目の項目を選択するには、 <b>4</b> をクリックします。
スクロール	ナビゲーション ボタンをクリックするか、またはキーボードの矢印キーを使用して、リストをスクロールし、項目を強調表示します。対応するソフトキー ([選択] や [ダイアル] など) をクリックして、操作を終了します。



## 機能メニューの使用方法







目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージ</li> <li>• サービス</li> <li>• ヘルプ</li> <li>• ディレクトリ</li> <li>• 設定</li> </ul>
リストまたはメニューをスクロールする	[ナビゲーション] ボタンをクリックします。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] をクリックします。このとき、メニューの最上位レベルで [終了] をクリックすると、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	電話スクリーンで機能タブをクリックします（機能メニューごとに対応するタブが電話スクリーンの上部にあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます）。

## テキストの入力と編集

目的	操作
電話スクリーンで文字を入力する	コール機能をクリックして強調表示し、キーボードを使用して文字や数字を入力します。
入力した文字を削除、またはカーソルの位置を移動する	文字や数字を1つ削除するには、キーボードの <b>Back Space</b> キーを使用するか、電話スクリーンの [<<] または [削除] をクリックします。カーソルを右に移動するには、電話スクリーンの [>>] をクリックします。[ナビゲーション] ボタン、またはキーボードの ← キーおよび → キーを使用して操作することもできます。

## オンフックとオフフック


Cisco IP Communicator がオンフックかオフフックかによって、Cisco IP Communicator の作業や操作手順が異なることがあります。

- オンフック：アクティブなコールはなく、アクティブなダイヤル トーンも聞こえません。Cisco IP Communicator には、オンフック ダイヤル (プレダイヤル)、つまり電話番号を入力または選択してからコールをアクティブにできる機能が備わっています。Cisco IP Communicator がオンフックの場合、各電話番号の横にこのアイコン  が表示されません。
- オフフック：スピーカフォンがアクティブです。あるいは、他の方法を使用してダイヤル トーンを鳴らしているか、着信コールに応答しています。電話機がオフフックの場合、コールまたは回線の状態に応じて、、、、、または  のいずれかのアイコンが表示されます。

### 関連項目









- [2-18 ページの「コールおよび回線の状態とアイコン」](#)

## コールおよび回線の状態とアイコン

- 回線：それぞれの回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号に対応しています。Cisco IP Communicator では、設定に応じて最大 8 本の回線をサポートできます。自分の回線数を確認するには、電話スクリーンの右側を見ます。回線の数、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、Cisco IP Communicator は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者は必要に応じてこの数を調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。




コールおよび回線の状態を示すアイコンについて、表 2-4 で説明します。

表 2-4 コールおよび回線の状態アイコン




アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。オンフックでダイヤル（プレダイヤル）している場合、オフフックにするまでは進行中のコールになりません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。3-3 ページの「 <a href="#">コールの発信</a> 」を参照してください。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。3-10 ページの「 <a href="#">コールへの応答</a> 」を参照してください。
	コールの保留	このコールが保留されています。3-13 ページの「 <a href="#">保留と復帰の使用方法</a> 」を参照してください。
	リモートで使用 中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。3-36 ページの「 <a href="#">共有回線の使用方法</a> 」を参照してください。
	認証済みコール	接続コールは、セキュリティによって保護されています。3-30 ページの「 <a href="#">ハントグループからのログアウト</a> 」を参照してください。
	暗号化コール	接続コールは、暗号化されています。暗号化コールは、認証済みコールでもあります。3-30 ページの「 <a href="#">ハントグループからのログアウト</a> 」を参照してください。

回線ボタンがどのように設定されているかを示すアイコンについて、[表 2-5](#) で説明します。

表 2-5 回線ボタンのアイコン

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	アイドル回線 (BLF)	3-35 ページの「 <a href="#">ビジー ランプ フィールドによる回線状態の確認</a> 」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	3-35 ページの「 <a href="#">ビジー ランプ フィールドによる回線状態の確認</a> 」を参照してください。
	サイレント状態 の回線 (BLF)	3-35 ページの「 <a href="#">ビジー ランプ フィールドによる回線状態の確認</a> 」を参照してください。

## ■ オンライン ヘルプへのアクセス

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	アイドル インターコム回線	このインターコム回線は現在使用されていません。3-39 ページの「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコム コール	このインターコム回線は一方向のオーディオを送信または受信しています。3-39 ページの「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコム コール	受信者がインターコム回線を押して、発信者との双方向オーディオをアクティブにしました。3-39 ページの「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

## オンライン ヘルプへのアクセス

Cisco IP Communicator には、包括的なオンライン ヘルプ システムが用意されています。ヘルプ トピックは電話スクリーンに表示されます。

目的	操作
メイン メニューを表示する	<p>Cisco IP Communicator の [ヘルプ] ボタンをクリックし、メニューが表示されるまで数秒待ちます。すでにヘルプがアクティブな場合は、[メイン] をクリックします。</p> <p>メインメニューには、次の項目が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IP Communicator について : Cisco IP Communicator に関する詳細な説明</li> <li>• 操作方法 : Cisco IP Communicator の一般的なタスクに関する手順や情報</li> <li>• コール機能 : コール機能に関する説明や手順</li> <li>• ヘルプ : ヘルプの使用やアクセスに関するヒント</li> </ul>
ボタンまたはソフトウェアについて調べる	[ヘルプ] ボタンをクリックしてからすぐにボタンまたはソフトウェアをクリックします。

目的	操作
メニュー項目について調べる	[ヘルプ] ボタンをクリックしてからすぐに電話スクリーンのメニュー項目をクリックします。 または、メニュー項目を強調表示した状態で [ヘルプ] ボタンをすばやく2回クリックします。
ヘルプを使用して情報を入手する	[ヘルプ] ボタンをクリックします。数秒待ってから [ヘルプ] ボタンをもう一度クリックするか、またはメインメニューから [ヘルプ] を選択します。
ユーザガイドにアクセスする	[メニュー] > [ヘルプ] または右クリック > [ヘルプ] を選択します。

## 機能の操作方法と利用可能状況

Cisco IP Communicator の操作方法および利用可能な機能は、社内で使用されるコール処理エージェント、および社内のサポート チームによる電話機システムの設定内容によって異なります。機能の動作に関する質問や、特定の機能を利用できるかどうかについては、社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。ソフトキーを使用するか回線ボタンを押すことにより、さまざまな機能にアクセスできます。一部の機能はユーザ側で設定できますが、ほとんどの機能はシステム管理者によって管理されています。ソフトキーを使用してアクセスできる機能を次に示します。

機能	ソフトキー
コール バック	折返し
コール 転送	不在
コール パーク	パーク
コール ピックアップ	ピック
会議	会議
会議 リスト	参加者
サイレント	サイレント
コールの終了	終了
グループ ピックアップ	G ピック
保留	保留
迷惑コールの識別	迷惑呼
Meet-Me 会議	ミー トミー
モビリティ	モビリティ
発信	発信
その他のピックアップ	他 Grp
Quality Reporting Tool	品質
リダイヤル	リダイヤル
最後の参加者を削除	ドロップ
転送	転送